allcinema

黄金の七人（1965）

7 UOMINI D'ORO
SEVEN GOLDEN MEN
SETTE UOMINI D'ORO

メディア　映画
ジャンル　アクション　犯罪　コメディ
製作国　イタリア／フランス／スペイン
色彩　Color
時間　91分
初公開日　1966/03/19
公開情報　東和
リバイバル　1994/07［ヘラルド］

【解説】

芸術映画とＢ級映画しか存在しないと思われていたイタリア映画にあって、燦然と光り輝く極上エンタテインメントの極致。“泥棒映画”というジャンルを語る上でも、「トプカピ」「ホット・ロック」と並んではずせない１本だ。ジュネーヴのスイス銀行に眠る７トンの金塊を狙って展開される一大強奪作戦。銀行の真向かいにあるホテルの一室に陣取った“教授”（Ｐ・ルロワ）から無線で指示が飛び、６人の仲間が実働部隊として地上に地下に待機している。“教授”の傍らには妖しい美女ジョルジァ（Ｒ・ポデスタ）の姿も。そして、遂に決行の時が来た！　水増し描写一切なしのタイトな展開は、アイディア満載の金塊強奪作戦自体の面白さを十二分に生み出し、二転三転するストーリーも飽きさせない。無駄を廃し、練り上げられた構成が映画を生き生きとしたものに仕上げているが、もうひとつ、全編に流れるＡ・トロヴァヨーリの音楽の功績も大きい。ジャズとスキャットとバロックを融合させた独特のメロディが奏でるオシャレ感覚（だからと言ってシブヤ系に大人気、ってのはチト違わないか？）こそ、この作品の“小粋さ”をもっとも端的に示しているのだ。本国はもとより日本でもヒットし、当然のように続編たち（中には関係ないのもあるが）が作られていく事になる。

【クレジット】

監督	マルコ・ヴィカリオ	Marco Vicario	
製作	マルコ・ヴィカリオ	Marco Vicario	
脚本	マルコ・ヴィカリオ	Marco Vicario	
	マリアノ・オゾレス	Mariano Ozores	
	ノエル・ギルモア	Noelle Gillmor	
撮影	エンニオ・グァルニエリ	Ennio Guarnieri	
編集	ロベルト・シンクィーニ	Roberto Cinquini	
音楽	アルマンド・トロヴァヨーリ	Armando Trovajoli	
出演	フィリップ・ルロワ	Philippe Leroy	アルベール（教授）
	ロッサナ・ポデスタ	Rossana Podesta	ジョルジャ
	ガストーネ・モスキン	Gastone Moschin	アドルフ
	ガブリエル・ティンティ	Gabriele Tinti	アルド
	モーリス・ポリ	Maurice Poli	アルフレッド
	マヌエル・ザルゾ	Manuel Zarzo	アルフォンソ
	ジャンピエロ・アルベルティーニ	Giampiero Albertini	アウグスト
	ダリオ・デ・グラッシ	Dario De Grassi	アンソニー

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.

ホセ・スアレス	Jose Suarez	頭取
エンニオ・バルボ	Ennio Balbo	警察署長
アルベルト・ボヌッチ	Alberto Bonucci	
レンツォ・パルメル	Renzo Palmer	
ファン・ルイス・ガリアルド	Juan Luis Galiardo	

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.